

新会長に平野正樹氏が就任 中国電力株式会社副社長の出身

一般社団法人日本内燃力発電設備協会（今永隆会長）では令和2年6月5日（金）、東京都千代田区のホテルグランドパレス九段下で「第45回定時総会」「第166回理事会」を開催しました。

定時総会では委任状と書面評決参加を合わせた出席正会員数は98名（正会員数116名）でした。今永隆会長の開会あいさつに続き、審議事項として「令和元年度事業報告」「令和元年度決算報告」「役員選任」の3議案を原案通り承認しました。報告事項として「令和2年度事業計画」「令和2年度収支予算」「公益目的支出計画実施報告書」について説明しました。

また定時総会では「役員の改選」を行い、今永隆氏（一般社団法人日本内燃力発電設備協会）、安平英明氏（いすゞ自動車株式会社）の2名が理事を退任しました。後任として、平野正樹氏（中国電力株式会社）、松本大介氏（いすゞ自動車株式会社）の2名

が新理事として就任しました。定時総会後の理事会にて理事の互選により、後任の会長として平野正樹氏が就任しました。今永隆氏は顧問に就任しました。

例年実施している「令和2年度功労者表彰贈呈式」「総会懇親会」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止しました。後日、功労者表彰の受賞者7名に対し感謝状と記念品を贈呈しました。

いまながたかし 定時総会での今永隆会長あいさつ

現在、新型コロナウイルス感染拡大を受け、東京都では東京アラートを発令し、周知徹底を図るためレインボーブリッジを真っ赤にライトアップしています。私達は困難な時機を迎えています。私が会長に就任した平成29年（2017年）6月から3年が経ちました。その間、当協会の事業は順調に推移して参りました。数多くの自然災害が発生する度、自家用発電設備の必要性と重要性が一層高まってきた社会状況が背景には在ります。

以前より、自家用発電設備は消防法に則ったディーゼル機関を搭載する防災用が主流であります。しかし徐々に、ガス機関の常用や、危機管理対策として保安用・業務用の非常用電源の需要も伸び

ています。これから自家用発電設備の将来は大きく転換していくのだろうと思います。

本日は通常とは異なる状況の総会開催でございますが、是非活発なご審議をお願いします。

ひらのまさき 理事会での平野正樹新会長あいさつ

私は現在、中国電力株式会社において副社長を務めておりますが、6月25日の株主総会で退任後は当協会の会長職としての業務に尽力したいと考えております。以後、宜しく申し上げます。当協会が取り組む自家用発電設備に係わる事業の詳細内容については今後、認識を深めていく所存です。

新会長として、製品認証制度や専門技術者養成制度など、制度の適正な運用のほか、当協会の適切な運営、会員皆様の社業の発展に対して、微力ながら貢献できるよう努めて参ります。皆様方のお力添えを賜りますよう宜しくお願いします。

令和2年度功労者表彰の受賞者（敬称略）

- ▼小泉 悟（こいずみ・さとる）
三菱ふそうトラック・バス株式会社

- ▼山口 茂 (やまぐち・しげる)
株式会社第一テクノ
- ▼濱 篤 (はま・あつし)
株式会社IHI原動機
- ▼小倉 弘行 (おぐら・ひろゆき)
株式会社明電舎
- ▼白田 光宏 (しろた・みつひろ)
株式会社東京電機
- ▼則末 健介 (のりすえ・けんすけ)
ヤンマーエネルギーシステム株式会社
- ▼田村 和夫 (たむら・かずお)
建築都市耐震研究所



第45回定時総会



議長を務める森谷浩一・副会長